

## 訂正とおわび

本誌のバック・ナンバーにおいて、下記の個所に誤りがありました。おわびして訂正いたします。 <https://toragi.cqpub.co.jp/tabid/899/Default.aspx> (編集部)

### ■ 2020年4月号

#### ● 特集 第2章

p.55 左↑6行目：OPアンプ→計装アンプ

p.68 左↓3行目：負荷抵抗→負性抵抗

p.78 右↑4行目：筆者経歴を次のように変更

瀧澤 雅晴：組み込みシステム・スペシャリストとして開発/技術サポート業務に18年間従事。現在はPALTEK FPGA ソリューション事業部システム技術二部に所属

#### ● 特集 第3章

p.86 左↑15行目：代表ではないでしょうか→代表だと思いますが注意が必要です

p.94 図1のキャプション：スイッチング

方式→ワイド・レンジ方式

p.94 図1の吹き出し：出力は四角→通常は四角

#### ● 特集 Appendix

p.130 vol.2の表：小尾 重樹(リバーエレクトック)→小尾 茂樹(リバーエレクトック)

#### ● 連載 ダイレクト・サンプリングFM SDRの製作

p.160 左↑2行目： $G_{PFC}$ → $G_{PC}$

p.161 図3の吹き出し： $G_{PFC}$ → $G_{PC}$

p.162 図4のサブキャプション：復調出力は7 kHz→復調出力の振幅は7 kHz

#### ● 連載 本質理解! 万能アナログ回路塾

p.195 式(41)中の等式の左辺：

$$\int_C A_x(\mathbf{r}) \cdot d\mathbf{x} \rightarrow \int_C A_x(\mathbf{r}) \cdot dx$$

$A_y(\mathbf{r})$ と $A_z(\mathbf{r})$ についても同様

#### ● 連載 私の部品箱

p.206 左↑5行目：測れませんでした→測りませんでした

#### ● 付録DVD-ROM vol.2

水晶発振回路の負性抵抗測定：小尾 重樹(リバーエレクトック)→小尾 茂樹(リバーエレクトック)

#### ● Information

p.208 一番下の製品紹介：問い合わせ先「<https://www.yuden.co.jp/jp/contact/>」→「<https://www.murata.com/ja-jp/support/contact>」